

奄美大島・喜界島農業の動き

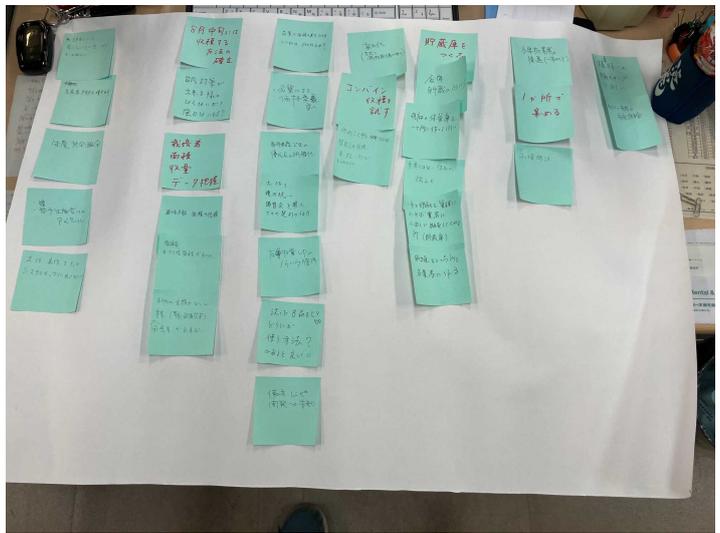
■令和6年10月

1 喜界町ごま生産振興協議会がKJ法で産地振興の方向性を検討

9月20日、喜界町役場で喜界町ごま生産振興協議会の検討会を開催しました。今期のごま栽培は、台風10号の被害により大幅な減産となっており、協議会員の集荷も計画通りになっていない状況です。当日は、今後の産地振興についてKJ法で検討し、参加者からは、名簿の作成、ほ場・収量等のデータ管理、一元集荷、共同の貯蔵庫、種子の統一、乾燥施設の導入、品質基準の統一等の意見が出されました。農政普及課は関係機関と連携しながら、対策の実現に向けて支援します



ごま生産振興協議会 1



ごま生産振興協議会 2

2 マンゴー・パッションフルーツの来期作増収に向けた取組を検討

今期の喜界町全体のマンゴー、パッション生産を総括し、来期作の改善に繋げるため、10月3日に喜界事務所で、農家代表、喜界町技連会、県農業開発総合センター大島支場、大島支庁農政普及課が参加し検討会を開催しました。そこでは1年前の本検討会以降の産地支援の取組（技術・販売・補助事業活用等）と今期の栽培出荷実績を評価し、来期作に向けて取り組むべき支援目標・支援方を協議し、合意に至りました。これから1年間、毎月の担当者会で進捗確認しながら支援を進めます。



喜界町マンゴー・パッションフルーツ産地育成検討会

3 スマート農業推進研修会で柑橘管理作業の未来像を学ぶ！

10月4日、スマート農業推進研修会が瀬戸内町阿木名地区のたんかん園地で開催されました。柑橘農家や関係者など約80名が島内全域から参加し、ラジコン草刈機による除草作業とドローンによる農薬散布作業の実演の様子を興味深く見守りました。瀬戸内町が実際に開始する同草刈機のリース方法やドローンの技術実証の進捗報告に対して、多くの質疑がされるなど関心の高さがうかがえました。サステナブルな奄美の柑橘産業を実現するために、今後も同様な技術革新に力を注いでいきたいです。



ラジコン草刈機実演

農業用ドローン説明

4 奄美市たんかん塾、第2回講座を開催！

10月10日、第2回奄美市たんかん塾が奄美市農業研究センターで開催され、46名の塾生が受講しました。当該講座は果樹普及職員を講師に、奄美市のたんかん栽培の初心者向けに開かれています。今回は「たんかんの病害虫対策と肥培管理」をテーマに、たんかんを加害する病害虫の特徴や対処法、生長に必要な肥料成分と効果的な施用方法などを丁寧に解説し、質疑応答を含めて3時間の講座を終了しました。参加者アンケートをもとに、次回も満足度の高い講座となるよう心がけていきたいです。



進行説明

講座状況

5 公設市場で地産地消の推進を語り合う

10月15日、奄美市公設地方卸売市場で大島地区かごしまの“食”交流推進協議会と大島本島地区農産物地産地消推進協議会の共催による大島地域食育・地産地消推進研修会を開催し、食育や地産地消に関わる関係者72名が参加しました。市場から地場産野菜の取扱量拡大に向けた取組等について紹介があった後、食を通じた地域おこしに取り組む一般社団法人E'more秋名の代表理事村上裕希氏による講演及び参加者を交えた地産地消の推進に関する意見交換が行われました。



食育地産地消推進研修 1



食育地産地消推進研修 2

6 喜界町上嘉鉄地区の農地集約検討会

10月15日、喜界町上嘉鉄公民館で、上嘉鉄地区のさとうきび大規模ハーベスタ農家を対象とした農地集約検討会を開催しました。同地区ではこれまでも大規模ハーベスタ農家間で農地交換による集約を行っていましたが、農政普及課としては、円滑な集約と農地交換のシステム化を目指し、関係機関と連携した支援を開始しました。今後は、定期的な話し合いの場を開催し、地域計画の目標地図の変更と連動させながら、対象のハーベスタ農家の農地交換の検討や意見の調整等の支援を行っていきます。



上嘉鉄農地集積検討 1



上嘉鉄農地集積検討 2

7 奄美柑橘クラブが研究・普及との連携強化！

10月18日、若手柑橘農家で構成する『奄美柑橘クラブ』が研究・普及合同研修会を開催しました。『津之輝の進化と未来の柑橘樹形』をテーマに、クラブ員の2箇所の園地と農開センター大島支場の試験園地での現地検討が行われました。クラブ員が新たに手がけた屋根掛け栽培やコンパクトに仕立てた直立双幹形に関する現地と試験研究との協調した取組など、新たな取組が展開しました。当日は交流会で親睦も一段と深まり、果樹振興への一体的な取組強化について相互に確認し合いました。



現地検討 1



現地検討 2



懇親会

8 喜界町でさとうきびハーベスタ新規オペレーター試乗会を開催

10月19日、喜界町ハーベスタ連絡協議会は、喜界町坂嶺で新規オペレーター試乗会を開催しました。喜界島のさとうきびハーベスタのオペレーターは高齢化が進んでいることから、オペレーターの確保の一環として実施しました。試乗会に参加した若手農家や他産業従事の青年からは、協議会員の細かい指導により、操作はやりやすかったし、慣れると操作はできると思う等の意見が出されました。農政普及課は今後も協議会と連携しながら、オペレーター確保策の取組を支援していきます。



ハーベスタオペレーター試乗会 1



ハーベスタオペレーター試乗会 2